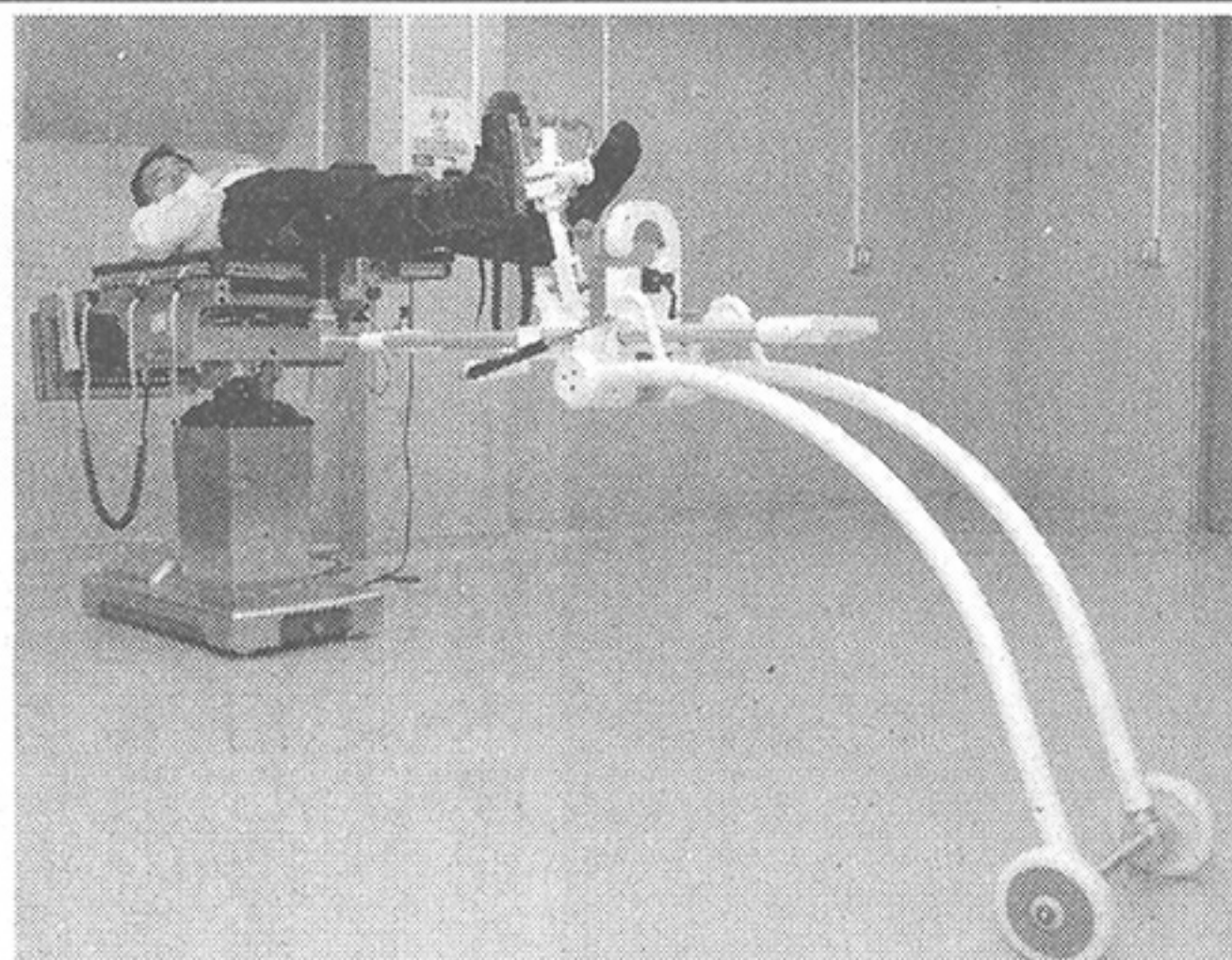


前面からのメス入れ対応

千葉大など 股関節手術台を開発



【千葉】千葉大学医学部付属病院は医療機器販売のサージカルアライアンス（東京都港

区）と共同で、股関節の前側からメスを入れて人工関節に置き換える手術に適したけん引手術台「ルキュアII写真」を開

発した。既設手術台に患者をおむけに寝かせ、手術する足をけん引手術台に乗せて固定できる。手術中に股関節を動かせるよう、手術台

の角度調整を可能にした。軽量で持ち運びも容易。価格は約600万—800万円（消費税抜き）。サージカルアライアンスが製造・販売を担当し、年間10—20台の販売を目指す。

股関節を人工関節に代替する手術は、国内では股関節の後側にメスを入れる手法が普及している。前側からメスを入れる手法は難易

度が高い反面、筋肉と筋肉のすき間にメスを入れるため筋肉などの損傷を低減し、術後の早期回復につながる。千葉大と同社はこの手法の国内普及も行う。製品化に当たっては中小企業庁の2014年度補正「ものづくり・商業・サービス革新補助金」に開発事業が採択され、認定支援機関の京葉銀行から支援も受けた。